

『少年の主張』県大会で 塘内さんが最優秀賞

芳賀中学校3年生の塘内エリカさんが、第34回栃木県少年の主張発表県大会で最優秀賞を受賞しました。

大会で発表した塘内さんの全文をご紹介します。



誰にでもできる一生懸命
芳賀町立芳賀中学校
三年 塙内エリカ

私の弟は、特別支援学校に通っています。弟は、二才になるころに、医師から自閉症だと言われました。成長して人とコミュニケーションを取ることができず、言葉を話すことは難しいだろうと、母は医師に宣告されたそうです。しかし、今小学校四年生の弟には、たくさんの友達がいます。日常での会話も他の人と同じで、変わらずにできます。なぜ、

あれほど話すことや書くこと、コミュニケーションを取ることが困難になると言われていた弟が、みんなとほとんど変わらない生活をしているのでしょうか。

母は、医師から、どんな教育をしても無駄だと言われたそうです。それでも、自分の息子が抱えてしまった障害という絶望の中のわざかな希望を、母は信じていました。「なんとかなるかもしれない」そう思った母は、悩んだ末に、普通の子と変わらない抱えた児童生徒が通っています。自分の力だけでは歩くことも食べることもできず、少しも動くことができない人がたくさんいます。特別支援学校にも、私たちの学校と同じく多くの行事があります。音楽発表会や文化発表会、なかも運動会は家族のみんなで毎年見に行っています。そこには、障がいを抱えながらも、

塘内エリカさん

受賞の喜び

あまり作文や人前での発表が得意ではない私が最優秀賞に選ばれたなんて信じられません。普段感じていることや経験したことを評価されてとても嬉しいです。友だちからもよかったですと言われます。

文章を暗記したり間の取り方を練習したり苦労しましたが、家族や仲間、先生方の応援のおかげで中学校生活での最高の思い出ができました。ありがとうございました。



国語の先生から

大塚徳子先生

塘内さんは、自分の体験を通して伝えたいことは伝えられました。多くの人に塘内さんの思いを感じていただき、本人もとてもよい経験ができたのではないかと思います。部活動の合間に集中して練習した結果だと思います。

塘内さんは、自閉症の弟を支える母親の姿から「誰にでもできる一生懸命」という題をつけました。母親の熱心な弟への教育、弟が特別支援学校の運動会で懸命に取り組んだエピソードを紹介し、「自分は健康なのに無気力になっている」と反省しました。自らも吹奏楽部でくじけそうになりましたが、弟や母を思い出してください、後輩の指導や演奏が上手くでき、一生懸命にやることの素晴らしさを堂々と訴えました。

今年も芳賀町の空に 熱気球が飛んでくる!

商工観光課商工観光係 【028(677)1115】

2012熱気球ホンダグランプリの最終戦「2012とちぎ熱気球インターナショナルチャンピオンシップ」が芳賀町・茂木町・宇都宮市を会場に開催されます。国内有力チームを始め、海外の強豪チームが多数参加し、華麗なフライテクニックで秋の空を彩ります。

芳賀町の空にもたくさんの熱気球が飛びますので、ぜひご覧ください。

●期間／11月20日(火)～11月25日(日)

●大会スケジュール／

11月20日(火)	公式練習飛行
21日(水)	町内競技フライト 15:00～16:15ごろ
22日(木)	町内競技フライト 15:00～16:15ごろ
23日(金)	町内競技フライト 15:00～16:15ごろ
24日(土)	ツインリンクもてぎ バルーン・イリュージョン 18:45～ 鬼怒川河川敷 バルーン・イリュージョン 18:30～
25日(日)	鬼怒川河川敷 会場イベント 8:30～

※鬼怒川河川敷とツインリンクもてぎでもフライトが行われます。



※注意事項

天候状況(雨天・強風)などにより時間や場所が変更になる場合があります。
当日のスケジュールは、競技本部(農業者トレーニングセンター)またはAirBブログで確認してください。(http://www.air-b.com/)

AirBブログはコチラ



QRコード

手作りの文字のカードや、歯の磨き方・手の洗い方のカードを作って、家の壁に貼りつけていました。母は、自分の息子の未来のために、一生懸命、生きるために必要なことを教えていました。無駄になるかもしれないことを教えたのです。

私は、母からこの話を初めて聞いたとき、とても驚きました。なぜなら、今の私が知っている弟は、日常会話もできれば漢字も書けますし、三桁の引き算もできている弟だからです。友達もたくさんいます。「母と弟の一生懸命な思いが実を結んだ結果が、今に繋がっている」心からそう思いました。

弟が通う特別支援学校には、小学生一年生から高校三年生までの、さまざまな障がいを抱えた児童生徒が通っています。自分の力だけでは歩くことも食べることもできず、少しも動くことができない人がたくさんいます。特別支援学校にも、私たちの学校と同じく多くの行事があります。音楽発表会や文化発表会、なかも運動会は家族のみんなで毎年見に行っています。そこには、障がいを抱えながらも、誰にも負けないくらい一生懸命走ったり踊ったりしている姿があり、そういう姿を見ていると、どうして何の異常もなかった私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができた私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができたのです。

何事にも一生懸命になるには、自分自身の気持ちが大事だと思います。どんなに苦しむことも、どんなに辛くても、一生懸命になれた母、弟、特別支援学校の児童生徒たちのよう、誰でも強く堅い意思をもてば、何事にも一生懸命に向かい合えるのではないかと思います。勉強でも、部活でも普段の生活の中で、もつと一生懸命になれることはたくさんあるはずです。私にもそんな経験があります。私は吹奏楽部に入っています。三年生になり、パートのリーダーになりました。でも、私は決して、樂器がうまいというわけではありません。コンクールに向けて練習が始まつたとき、その曲の難しさに、リーダーとして後輩に曲を教えていく自信を失いかけていました。しかし、

みなさんには、何かに取り組む中で、途中で諦めてしまったことはありませんか。誰にでも、苦しいことや辛いことから逃げ出したい弱い気持ちはあると思います。しかし、一生懸命に努力できる強い気持ちもあるのです。自分の目の前にあることから、一生懸命取り組んでみませんか。

「いつまでもこのままいるはずがない」「私にしかできないことなんだ」そう思うと、「私にしかできないことをドバイスができるようになります。そして、上達した後輩の姿を見たときには、自分のことのように嬉しく思えたのです。

手作りの文字のカードや、歯の磨き方・手の洗い方のカードを作って、家の壁に貼りつけていました。母は、自分の息子の未来のために、一生懸命、生きるために必要なことを教えていました。無駄になるかもしれないことを教えたのです。

私は、母からこの話を初めて聞いたとき、とても驚きました。なぜなら、今の私が知っている弟は、日常会話もできれば漢字も書けますし、三桁の引き算もできている弟だからです。友達もたくさんいます。「母と弟の一生懸命な思いが実を結んだ結果が、今に繋がっている」心からそう思いました。

弟が通う特別支援学校には、小学生一年生から高校三年生までの、さまざまな障がいを抱えた児童生徒が通っています。自分の力だけでは歩くことも食べることもできず、少しも動くことができない人がたくさんいます。特別支援学校にも、私たちの学校と同じく多くの行事があります。音楽発表会や文化発表会、なかも運動会は家族のみんなで毎年見に行っています。そこには、障がいを抱えながらも、誰にも負けないくらい一生懸命走ったり踊ったりしている姿があり、そういう姿を見てみると、どうして何の異常もなかった私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができた私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができたのです。

何事にも一生懸命になるには、自分自身の気持ちが大事だと思います。どんなに苦しむことも、どんなに辛くても、一生懸命になれた母、弟、特別支援学校の児童生徒たちのよう、誰でも強く堅い意思をもてば、何事にも一生懸命に向かい合えるのではないかと思います。勉強でも、部活でも普段の生活の中で、もつと一生懸命になれることはたくさんあるはずです。私にもそんな経験があります。私は吹奏楽部に入っています。三年生になり、パートのリーダーになりました。でも、私は決して、樂器がうまいというわけではありません。コンクールに向けて練習が始まつたとき、その曲の難しさに、リーダーとして後輩に曲を教えていく自信を失いかけていました。しかし、

みなさんには、何かに取り組む中で、途中で諦めてしまったことはありませんか。誰にでも、苦しいことや辛いことから逃げ出したい弱い気持ちはあると思います。しかし、一生懸命に努力できる強い気持ちもあるのです。自分の目の前にあることから、一生懸命取り組んでみませんか。

「いつまでもこのままいるはずがない」「私にしかできないことなんだ」そう思うと、「私にしかできないことをドバイスができるようになります。そして、上達した後輩の姿を見たときには、自分のことのように嬉しく思えたのです。

手作りの文字のカードや、歯の磨き方・手の洗い方のカードを作って、家の壁に貼りつけていました。母は、自分の息子の未来のために、一生懸命、生きるために必要なことを教えていました。無駄になるかもしれないことを教えたのです。

私は、母からこの話を初めて聞いたとき、とても驚きました。なぜなら、今の私が知っている弟は、日常会話もできれば漢字も書けますし、三桁の引き算もできている弟だからです。友達もたくさんいます。「母と弟の一生懸命な思いが実を結んだ結果が、今に繋がっている」心からそう思いました。

弟が通う特別支援学校には、小学生一年生から高校三年生までの、さまざまな障がいを抱えた児童生徒が通っています。自分の力だけでは歩くことも食べることもできず、少しも動くことができない人がたくさんいます。特別支援学校にも、私たちの学校と同じく多くの行事があります。音楽発表会や文化発表会、なかも運動会は家族のみんなで毎年見に行っています。そこには、障がいを抱えながらも、誰にも負けないくらい一生懸命走ったり踊ったりしている姿があり、そういう姿を見てみると、どうして何の異常もなかった私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができた私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができたのです。

何事にも一生懸命になるには、自分自身の気持ちが大事だと思います。どんなに苦しむことも、どんなに辛くても、一生懸命になれた母、弟、特別支援学校の児童生徒たちのよう、誰でも強く堅い意思をもてば、何事にも一生懸命に向かい合えるのではないかと思います。勉強でも、部活でも普段の生活の中で、もつと一生懸命になれることはたくさんあるはずです。私にもそんな経験があります。私は吹奏楽部に入っています。三年生になり、パートのリーダーになりました。でも、私は決して、樂器がうまいというわけではありません。コンクールに向けて練習が始まつたとき、その曲の難しさに、リーダーとして後輩に曲を教えていく自信を失いかけていました。しかし、

みなさんには、何かに取り組む中で、途中で諦めてしまったことはありませんか。誰にでも、苦しいことや辛いことから逃げ出したい弱い気持ちはあると思います。しかし、一生懸命に努力できる強い気持ちもあるのです。自分の目の前にあることから、一生懸命取り組んでみませんか。

「いつまでもこのままいるはずがない」「私にしかできないことなんだ」そう思うと、「私にしかできないことをドバイスができるようになります。そして、上達した後輩の姿を見たときには、自分のことのように嬉しく思えたのです。

手作りの文字のカードや、歯の磨き方・手の洗い方のカードを作って、家の壁に貼りつけていました。母は、自分の息子の未来のために、一生懸命、生きるために必要なことを教えていました。無駄になるかもしれないことを教えたのです。

私は、母からこの話を初めて聞いたとき、とても驚きました。なぜなら、今の私が知っている弟は、日常会話もできれば漢字も書けますし、三桁の引き算もできている弟だからです。友達もたくさんいます。「母と弟の一生懸命な思いが実を結んだ結果が、今に繋がっている」心からそう思いました。

弟が通う特別支援学校には、小学生一年生から高校三年生までの、さまざまな障がいを抱えた児童生徒が通っています。自分の力だけでは歩くことも食べることもできず、少しも動くことができない人がたくさんいます。特別支援学校にも、私たちの学校と同じく多くの行事があります。音楽発表会や文化発表会、なかも運動会は家族のみんなで毎年見に行っています。そこには、障がいを抱えながらも、誰にも負けないくらい一生懸命走ったり踊ったりしている姿があり、そういう姿を見てみると、どうして何の異常もなかった私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができた私たちが、もっと一生懸命に生まれてくることができたのです。

何事にも一生懸命になるには、自分自身の気持ちが大事だと思います。どんなに苦しむことも、どんなに辛くても、一生懸命になれた母、弟、特別支援学校の児童生徒たちのよう、誰でも強く堅い意思をもてば、何事にも一生懸命に向かい合えるのではないかと思います。勉強でも、部活でも普段の生活の中で、もつと一生懸命になれることはたくさんあるはずです。私にもそんな絏験があります。私は吹奏楽部に入っています。三年生になり、パートのリーダーになりました。でも、私は決して、樂器がうまいというわけではありません。コンクールに向けて練習が始まつたとき、その曲の難しさに、リーダーとして後輩に曲を教えていく自信を失いかけていました。しかし、

みなさんには、何かに取り組む中で、途中で諦めてしまったことはありませんか。誰にでも、苦しいことや辛いことから逃げ出したい弱い気持ちはあると思います。しかし、一生懸命に努力できる強い気持ち